京城新報

●新聞料 ▲一部金二錢▲一ヶ月前金五十錢▲三ヶ月前金壹圓四十錢▲六ヶ月前金貳圓七十錢▲郵稅一ヶ月金拾參錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆 三月廿一日
發行編輯兼印刷人 秋山忠三郎
京城西署西小門通
發行所 京城新報社 電話六六三番

天下の有識に訴ふ

(不法なる退韓處分顛末)

大邱日日新聞主幹 沖田錦城

余不敏を以て昨年八月以來嶺南大邱の地に大邱日日新聞を創刊し同社主幹として操觚の業に從ふ爾來論說の要點は全く日韓兩國の關係をして益敦厚ならしめ小は居留地の發展を愈堅實ならしめんことを期し時に臨み事に托して侃々諤々の論を主張し確實なる民論の先驅を以て自ら擬したり然り而して余は本年一月より眼疾を患ひ日を經るも病勢退かざるため暫く日本に歸り四月二日大邱に歸着せしが當時偶々大邱に於て「民長不認可問題」なるもの起り大邱理事官氏野懋太郎氏の行動を議會の權能を無視し自治機關の基礎を危殆ならしめんとするを以て一般の輿論非常に激昂し不平の聲は四方に鬱積せるを看取したるを以て余は直ちに筆を呵して「民長不認可」なる一論文を大邱日日新聞紙上に揭載したるに豈圖らんや余の所論はいたくも神經過敏なる氏野理事官の頭腦を刺衝したるものゝ如く其激怒に觸れ同月十日突然左の嚴命に接したり

大邱日日新聞主幹 沖田榮次郎

右は明治二十九年四月法律第八十號清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法第一條により本日より向ふ二ヶ年間韓國に在留することを禁止す

咄是れ實に統監政治の下に於ける一大怪事たらずとせんや余は四月三日々本より歸邱したる後未だ一旬に滿たざるのみ況んや病中の衰軀を以て醫療三昧に其日を送れる余此短時日間に於いて何ぞ大邱の安寧を妨害する程の大事業をなし得る者ぞ新聞紙上三日間の論評而も成るべく激越奇嬌の言辭を回避したる拙文も何ぞ爾く絶大の勢力を居留地に及ぼすべきぞ余は氏野理事官が斯る突飛なる處分に出でたるに就ては殆んど其狂せざるかを疑はんとしたり然れども彼れ理事官は傲然として余を其眼前に引き得々として如上の命令書を朗讀し快心の微笑を其の顏上に浮べたり嗚呼彼は不法なる退韓命令を以て言論の自由を迫害し得たりと輕信したるものゝ如きも吾人は決して斯る非立憲的官吏の横暴に接し沈默以て之に盲從するものにあらざるなり

抑も淸韓在留民取締法が人權蹂躪の惡法なるは世間既に定評の存する處殊に其の立法の目的一定の職業なく善良なる風俗に反する無賴破廉耻漢に適用すべき刑罰を以て濫りに之れを新聞記者に加へ吾人言論の自由を剝奪せんとするに至りては豈獨り不敏沖田錦城一身の問題に止まらず又實に天下の醜官汚吏が法律によりて附與されたる權力を濫用して言論の自由を迫害するの例を作るものたらずんばあらず玆に於てか余一個の利害浮沈は暫く措くも我操觚社會の重大問題にて飽くまで醜吏の職權濫用を追及し將來言論界の禍根を芟除せざるべからざれ余が玆に本件の顛末を公表し天下有識の士に訴へんとするの所以なり

退韓命令前の狀況

余は前記の如く一月中旬病を得約一週日にて快癒せしも同月下旬眼疾に罹り病狀頗る重態なるを以て二月一日大邱同仁病院に入院専ら療養に力めたるも病勢益々增進し甚しき痛痒を感じ或は兩眼明を失するに至るやも計り難き狀態に陷りたるを以て院長の同意を得て福岡醫科大學病院の診察を受くることゝなり三月二日大邱出發歸國して福岡醫科大學醫院に入院専ら醫療を加へたる結果漸次輕快に赴き身体の自由殆んど舊に復したるを以て三月三十日退院四月二日歸邱し歸來も夜間だけは訪問客を謝絶し自宅に引籠り專ら靜養中なりき時に偶々民長不認可の事あり大邱居留民の一問題となれるを以て職責上默止するを得ず「民長不認可」なる一文を草し同月五、七、八、三日間に亘り大邱日日新聞紙上に揭載し同問題に論評を下し氏野理事官の行動を非難攻擊せり其の要領左の如し

曩きに大邱民會が選出したる民長は遂に不認可に了れり斯の如きは各地民團に於て多く類例を見ざる惡例にして吾人の甚だ遺憾とする所大邱民團の不名譽も亦此上なし而して不認可の原因たるや議會が選舉の手續に違反せるか或ひは人物の當を得ざりしに依るかを知らざれども民長の不認可は一面民會の不信任を意味するものにして甚だ不祥の事に屬す

殊に怪しむべきは理事官の態度なりとす彼れは何故に大多數の輿望を負ひし民長に對し故なく不認可を敢てしたるか是れ一般の疑惑を禁ずる能はざる所なり要するに這回の出來事は民會が當然附與されたる權能に基き正當の手續を踏み選出したる民長を故なく却下したるに於て自治的權能の亡びたるを感ぜざるを得ず斯る非立憲的行動を此儘に放置默過せば自治体の健全なる發達は到底得て望むべからず況んや理事官が自ら進んで黨爭の渦中に投じ少數金力黨と結托し事をなさんと企て偶々自黨の不利を見るや其公人たる職務を忘れ多數を制して抑壓を試み爲めに益々事態を紛糾せしめたる觀あるに於てをや

理事官との論爭

右の論議を紙上に揭載し了りたる翌日即ち本月九日午後氏野理事官は予を理事廳に招き會見をなしたるが席上彼れは怒色を含み開口第一先づ近時の大邱日日新聞が鼻息荒きを說き統監府が民長不認可の理由とする所は全く選舉違法にして詳言すれば民會が緊急動議を以て選舉を行ひたる點にありと明言して彼れが自家の立場を辯明し顏色を變じて新聞記事に關して憤怒の情を洩したり而も予は謂らく統監府不認可の理由が理事官の言ふが如く果して選舉違法なるや否やを知らざれども若し眞に然かりとせばこれ認可不認可の問題に非ずして議會決議の效力問題ならざるべからず認可問題と效力問題とは其間自から別あり故に行政監督の任にある理事官たるものゝ夙に之れを承知して議會に對し宜しく注意の方法に出でざる可からず況んや選舉の當時理事官自ら之に臨席し又一件書類を統監府に申達したる迄には充分の期間ありたるをや然るに理事官は計此に出でざるのみならず名を平和の美名に借り折角大多數を以て選舉せられたる民長候補者を故なく辭職せしめんと試み之を選舉したる議員に向ひ被選者に對し其の辭職を勸告したる如き一面に於て其の職責を疑はざるべからず苟し假りに百步を讓り果して理事官の云ふが如く選舉違法の理由の下に不認可となりたりとさせば議會に於て更に完全と認むべき手續を履み再選の手段を施せば可なるのみと故を以て予は如上の說を列ね一々理事官の言を駁して剩す處なく進んで自治の權能の重すべきを說きたるに彼れは辭に窮し大邱日日新聞記事か官吏侮辱罪を構成せりとせり予は其如何なる點が所謂官吏侮辱罪なるかを反問せしに理事官は机上の新聞を取調べ同日の二面記事劈頭に揭げれる寄書中其非行を掩はんとして此に到らしめたるものなるは早や隱れもなき事實云々と云ふに朱點せるを指示しこれ即ち官吏侮辱なりと云へり予は其理由の餘りに薄弱なるに一驚を喫したるも既に當該監督官が認めて官吏侮辱とする以上御遠慮に及ばず何時にても御處分勝手たるべきを言ひ放ち尙久之議論に花を咲かして引取りたりこれ實に予が這回の退韓命令を受る前一日の出來事なりき而も思はざりき此一件が素因をなし突飛にして且濫暴極まる退韓命令と化し吾人の頭上に落下せんとは(未完)

●瓜哇の土人政策(下)

(臺灣日々轉載)

吾人は猶は歐洲人官吏と土人官吏との關係に就き少しく說かんアッシスタント、レジデント即ち歐洲人なる駐在官助役は責任を負へる官吏にして合州行政事務の主腦なれども瓜哇貴族より出でたるレゼント(管理者の義)の勢力を土人間に揮ふを妨げず又レゼントが多大の收入を得るも毫も干涉せず此のレゼントは瓜哇人の代表者とも云ふべく管下人民の重要なる機關にして和蘭政府も普通の歐洲人官吏より之を重用し待遇上に頗る意を用ゐたり此等のレゼントに發する公用文書の辭令に徵するも其の一端を見るべく元來レゼントは歐洲人官吏の補助たるに過ぎざるも實際に於ては殆んど同等なりレゼント等の富めるは勿論にして遠く歐洲人官吏に優り歐洲人官吏の收入は家族を養ふに足る位の金額なるもレゼントの收入は往々二十萬乃至三十萬グルデンに達するものあり收入の內譯は第一、一定の月給第二、和蘭政府の買收せる藩地權の收入、第三、領地內の物產收入(珈琲、砂糖、インヂコ等)なるが猶ほ此外にレゼントは管內人民の勢力及び財產に對し至大の勢力あり元來瓜哇人は農耕民にして田園を愛すること甚しく殊に米作を好み恰かもライン地方及び佛蘭西に於ける葡萄栽培業の如く肉體及び精神共に米作に注げり彼等は米の收穫によりて其の年齡を數へ又稻の色に從つて季節に名稱を附せり斯く農業を好むを以て田園の支配者たる舊諸侯に絕對的服從を爲すは當然の事と云ふべし

和蘭政府の瓜哇土人政策は今も猶依然として土人間に勢力ある舊諸侯をレゼントとして利用するに在り政府直接に土人を命令するも彼等には甚しき効力なきも諸侯の命令には絕對に服從するを以て專ら此等の諸侯に旨を授け土人を指揮せしめて間接に瓜哇土人を統治するを便なりとす元來亞細亞國民は封建の世を去ること未だ遠からざるを以て舊諸侯の舊藩人民に對する勢力は頗る大にして日本に於てさへ既に然り況んや瓜哇の如き人民の蒙昧なる地方に於てをや和蘭政府が若干の利益と勢力とを舊諸侯に與へ無爲にして利益の多くを收め成功の實を擧げたるは甚だ巧みなる植民地政策なりと謂ふべし

瓜哇の諸侯は斯くの如く勢力ありて土人との關係は今日も君臣の情誼を有し土人等は樂んで舊諸侯の田園を耕作すると共に其收入の幾分を捧げて舊諸侯に獻じ毫も嫌厭の情なしレゼントたる舊諸侯の眼一たび管內人民の馬、水牛、最愛の娘或る場合には其の最愛の妻に注ぐ之を希望すれば彼等人民は唯々諾々として其希望に應ずるを常とす然れども此等の權力濫用は收利の外植民地經營に何等の理想なき和蘭政府も之を袖手傍觀すること能はず歐洲人官吏をして彼等舊諸侯の暴横を制し土人を保護せしめつゝあり勿論之れが爲め暴横を絕對に防ぐこと能はざるも多少の效力あるが如し

要するに和蘭政府の瓜哇統治策は巧みに土人を利用するに在り彼等をして甘んじて和蘭政府の下に業務を樂しましむるに在り故に歐洲人官吏と土人との關係頗る親善にして反目するの恐なく世間の各植民地に於て母國人と土人との感情衝突より叛亂を惹起すること往々之れあるにも拘はらず蘭領印度は領有以來二百年と云ふ非常の年月を經たる今日猶は極めて平和なる所以なり此點に就ては各植民國ともに和蘭政府に學ぶ所なかるべからず。

●有望なる三南鐵道

▲一大拓殖線 古來韓國の富は三南に在りと傳へられ、而かも三南の富源は錦江河系に集れり、本鐵道は京釜線の中央より分岐し、此流域に沿ひて江景に至り、更に全羅の沃野を廻りて木浦に達すべきもの、その一大拓殖線として有望なること玆に說くを要せず元と本鐵道の設計に就ては表面韓國農商工部に據りて企畫せられ而して之れが資本主としては坊間岩崎男爵家を以て之に擬しつゝあり現に本線の中央分岐線候補地たる三禮には同男爵家の購入せし土地多しと聞く兎まれ該線の測量は明治四十年九月を以て着手せられ本年一月下旬江景より木浦に至る線及び群山線等の踏査を了へ本年二月下旬より更に群山を出で錦江流域に沿ひ鳥致院に至る比較線の調査をなし本月七日鳥致院に着、更に十日鳥致院發、陸路江景に至り約十日間の豫定にて同地附近の測量をなし終了後約二十日間にて金堤方面及び全州方面の各附近を實測し夫れより太田驛の踏査に隨ふべき豫定なりと云へば太田江景間の測量期は明月中旬頃なるべきが測量班は農商工部囑托技師富尾辨次郎、同廣澤範敏兩氏以下技手五名、譯二名工夫十三名なり

▲線路と市邑 本線は京釜線たる太田若くは鳥致院兩驛中の何れかより分岐し江景に至り更に木浦に達すること前述の如し左れど今は比較線の一部なる鳥致院線の測量に從事し終へしのみにて未だ太田線の測量に從事せざれば江景以南に達する線は未定に屬し居るを以て玆には江景以南木浦に至る線路を報ずべし此線は最初江景より龍安、益山(全州若くは三禮)を經て金堤、金溝の間を通過し井邑、長城を過ぎ光州より西約一里の地點に至り羅州に出で更に榮山江流域の北岸に沿ひ木浦に達するものなり今各市邑と線路との距離を示せば左の如し

益山(二 里)	全州(未定)	三禮(未定)
金溝(一里半)	金堤(二里)	井邑(十丁)
長城(一里弱)	務安(一里)	光州(二里)

而して群山への分岐點は裡里附近の豫定也

▲隧道と橋梁 本鐵道は全體に於て差したる難工事なきも全羅南北境界なる蘆嶺には約四千尺の大隧道を設くべき必要ありその他木浦、羅州間に四五ヶ所の隧道(大は二千尺、小は五六百尺)を設けざるべからずと云ふ橋梁は全州川、泰仁川、長城川の三ヶ所にて又鳥致院線を採るとせば錦江に流身一千五百尺の大橋梁を架する必要ありと最急勾配は六十分の一最小半徑二十鎖也

▲完成の期日 測量は調査漏れ等の箇所を併せ遲くも本年中を以て終了すべく而して是が敷設工事は明年直ちに起工するとして約六ヶ年を要すべく尤も速成工事となすに於ては四ヶ年にて全線竣工すべしと

▲太田線由來 假りに太田を分岐點となすに於ては連山附近に約七八チェインの隧道を設くるのみにて同地以西は坦々たる平野なるが太田江景線に就ては明治三十七年三月我陸軍の手にて輕便鐵道を敷く計畫を立て工學士藤尾惟一(目下米國にあり)技師柴山武三郎(目下南滿にあり)同大島篤忠(山陽線)氏及び現京義線土城驛在勤技手三浦清海氏等之れが測量に從事せしが三浦技手の語るところに據れば隧道は以上の如く小距離のものゝみにて他は切取及び盛土數ヶ所を爲ば足り難工事と稱すべき箇所なし

讀者歌壇

投書歡迎

短詩 八重吉

春

霞に暮るゝ 春の鐘
柳に烟る 雨の舟
里の小橋の 山吹に
お八重の唄を 聽く月夜哉

廓

癪納まりし 曉の
油少なき 有明や
戀ふる東の 空曇る
思を駆けて 行く時鳥

春季雜詠 春の舍主人

戀

春宵わが心にも立こめて戀るはいもが花のおもかげ

小說 紘のみたれ

(百二十二) 永井櫻園

「何の面目無い事があるものか、私こそ宜い年齡をして、年齡効も無い難題云ひかけてお前さん方に、一方ならない心配させて濟まなかつた、どうぞ年齡に免じて勘忍して下さい。」

「お父樣、私は嬉しいやら悲しいやらで、胸一ぱいで言も言へません。」

と、お縫は理もなく涙を流す、かゝる折から。

「御免下さい。」

と、又も表格子をガラリと排けて入る人がある。

誰かは知らねど、訪ふ人のあるに、折惡しくは思へども、打棄ても置れぬので、お縫は小兒を良人に預け、涙を袖に拭ひ、テランプ片手に玄關に出て見れば、美髯を蓄へたる身にスタイル好き洋服着たる紳士が立つて居るので、不思議相に眺めつゝ、

「入來しやいまし、誰方樣でございませうか。」

と、疊に手を支へ、丁寧に問ぬれば、

「山田邦雄さんの宅は此方でせうか。」

と、反對に問ねる。

「は……はい、此方でございます。」

「では、些と此の名刺を渡して下さい。」

と、一葉の名刺をポケットの中から取出して渡す、お縫は名刺を見る勇氣もなく。

「暫くどうぞ。」

と、會釋して、急ぎ良人の傍へ件の名刺を持行けば、山田は不審の眉顰めつゝ受取り見るに、和田垣純彥と印刷してあるゆゑ、益々意外に驚いて、

「こりや、叔父樣が來られたんだが、困つたなア、生憎斯樣騷ぎの中で……まあ、宜いわ、致方がないから奥の座敷へお通し申して與れ。」

と云はれて、お縫は何が何やら狼狽しつゝランプに燈明を點け、和田垣を奥座敷へ導いた。此の新來の客のため、口を噤むで居つた勇五郎は怪訝な顏して。

「叔父樣と云ふは、お前さんの叔父樣ですか。」

と問ふ。

「はい、私の爲には父方の唯だ一人の叔父ですが、永く外國へ往つて居つたですが、何時歸つて何うして尋ね出したか知りません。」

「すると、內幸町とかの彼の方ですか。」

「はい、私が昨年まで厄介になつて居た、內幸町の叔父です。」

「この夜更に訪ねて居らしたのは、何か急用かも知れない、小兒は私が守をしてる早く往つて會ひなさるが可い。」



「では、些と此兒をお願ひ申します、今直にお縫が來ますから。」

と、愛兒を勇五郎に渡し、涙を拂つて奥座敷へ往つて、うして面目無げに頭を低げ、

「これは/\叔父樣には能くこそお訪ね下さいました、その後は絶て音信も致しませず、合す面目もございませんが、相變らず御壯健でお目出度う存じます、一方ならない御厄介を受けながら、御恩を仇にお宅を放逐されるやうな不品行致しまして何と謝罪の致しやうもございません、どうぞ平にお恕しを……。」

云はんとするを皆まで言はさず、美しい髯の先を弄りながら、

「モウ、過去つた事は可い、何にも言ふな私も聽かない、お前にも不品行の缺點もあつたらうし、妻にも行屆かない缺點が在つたに相違ないと思つてるから……。」

京城新報

最近韓人の

排日思想の勢力及び其發達

國際政策の利害を利用して一家權勢の要害と爲し、外交の機密を利用して一身利達の基礎を作るの術數手腕に至りては韓人の日本人より優れること最近の大小政變毎に屢目擊したる處なり。

韓人は其國民性の本體に於て、獨立國民の性格を教養され又之を發揮したる事實を有せざるが故に、時として閔泳煥の如き上流人士が自殺したり、サンフランシスコに於ける因漢がスチブン氏を殺害したるが如き國家的觀念の刺激により敢行したるの觀あれども必しも是れ愛國忠君の至誠ありて然るにあらず、只だ一時狂熱的に浮かれ出する氣象のために往々斯る徒輩の出現することあり。

然れども、讀者よ、我王政維新の大業も遠く頼山陽の日本外史や、高山彦九郎、林子平等の勤王論出でしより幾十年を經て佐久間象山出で吉田松陰出で、乃至西郷●大久保、木戸の諸豪傑之を結局したり、思想は[illegible]るは百般の狀態なれば、今や韓人中に於て馬鹿々々しき論議や微弱なる愛國論を吹き立てる間に於て、彼の子孫は之を繼承して大成することあるべし、韓人中に於ては十五年前迄は事大思想の外獨立思想などは全く了解せざりき、其顯著なる一例を擧ぐれば

獨立は孤立なりとの政論

日清戰爭了りたる後、井上伯の爲めに獨立紀念祭を擧行したることあり、當時韓人の多くは獨立紀念祭は、頗る面白くない祝典である、そは獨立とは一人で立つと云ふ義にして、世界に關係なき孤身であると云ふ見解なり、當時彼等は久しく清國の屬國關係より形式に分離せしめられて獨立王國となりしより、獨立王國とは屬國よりも一層不景氣なる不面目なり、寂寥なる國民となりしと思惟したるなり、[illegible]價値なく、幸福なく、彼等は强大に附屬し[illegible]より無理虐待を[illegible]たるに相反して獨立王國となりしは[illegible]れ世界强大の前に於て一度の平身低頭を[illegible]むことなく、各强大に對して幾度の平身低頭を爲す孤立の人民となりしと[illegible]なり、是れ餘り久しき事實に非ずして實に十五年前の事共なりき。

獨立崇拜と排外思想の進步

時代は回して漢城は漸く無事となり、皇帝は唯一の外交官長となり、國交の利害は君首の專有の時代となりしより獨立帝國の有難味も漸く國民の一部に了解されると共に、彼等は借款問題あれば曰く、是れ獨立を危くするの借金なりと、第一銀行券を見ては曰く是れ獨立國の經濟を紊亂するの惡紙幣なり、甚しきは國際の平和は國際の權衡を均うして之を制するの思想まで了解するに至りぬ

斯くなりては事苟くも獨立國の外形を飾るに足る政策ならしめば悉く之を行ふの良策あるを知りて、之を養ふ實力の養成は放棄し、盛んに軍隊を養ひ、宮殿を宏大にし外交用件も無き外國に使節を派駐し、各國帝王の招請に億面も無く參列すと云ふ虛榮心を增長しぬ。

斯く●獨立崇拜を爲す●折柄、彼等の口癖となり、自慢となり、國策の如くに一致し來りしは排外思想なりき、韓人は土坏を外人に賣るを以つて一生の恥辱なりと吹聽し、官衙の公式書類中には外人に轉賣施す勿れ、若しくは外人に土地を賣り、權利を賣ること國民的恥辱と爲すの有樣なるに、實狀はこれと相反して外人に賣らんことを是れ力め、外人に附從して利澤を獲んことを是れ奔命するの國民なり、外形に於ける獨立崇拜の形式は備はり至れりと雖も肝要なる眞正獨立は依然として發達すること無かりき

排外思想と排日思想

孤立の變改せる獨立思想は排外思想を產出したり、奇異なる幾多の排外思想が、國際的滑稽事件を惹起したる事例は甚だ多大なりき、假令へば彼等韓人は絕叫して『月尾島賣却事件』を目して賣國的卑劣事件と視做して罵り乍ら其口錢の誅求を宮廷より受けたりしを默視せり、鑛山抵當の外債を排斥し乍ら、金鑛權利の運動費に歡察したりき、其著名なる龍岩浦租借の棄却を企て乍ら、已に其租借密約のコムミッションを甘受せり、斯る腰弱き排外思想中尤も吾人が不快とせしは日本排斥の聲なりとす。

排日思想の前身

日本勢力の侵入を排斥せんとするは最近十餘年間に於て幾多の變遷を爲したりき、就中尤も甚しき事例は王妃殺害事件の反動なりとす一般の韓人は王妃殺害を以て日本勢力の影響となし、日本黨を驅逐するには激しき態度を示したりき、二十九年に起れる暴徒は其復讐戰鬪として各方面より起りぬ、當時我殖民部落は悲慘なる禍害を被むりて一時全く破滅したる處少からず。

爾來亡命者問題は悉く日本の外交を阻害する唯一の排日思想にして、彼等は事實に於て亡命者と親密なる關係なるにも拘らず、口を亡命者に借りて日本の勢力を破壞し、排斥すること尤も猛烈を極めたり、此排日運動は爾後數年に亘りて大小の問題に關繫して帝國の行動を阻害する口實となり、韓宮廷は亡命者を捕へ、亡命者の幾員を殺戮する一種の懸賞を內外の臣僚に示して幾多の密謀と秘密金を消費したりしこと一再ならざりき。

排日運動は以上の如き一種の感情より出でたるものにして當時に於ては寧ろ日本勢力を排する眞正なる思想によりて運動したるに非ず、韓人は之を利用して宮廷に仕へ、政權を獲、利益を得るの口實に借りたるもの多く其思想の幼稚なりしこと誠に抱腹絕倒すべきものなりき、然り而して日露交戰に及むで俄然として日本排斥の思想に多くの材料と思想の發展を來したり。

日本移民の禍

韓人は多數の日本人渡來し、次第に市街を擴張し、各地に於て移殖者增加せるに從つて以爲らく日本國民は洪水の如く來りて韓人の農作を奪ひ、韓の土地を掠め、爾來祖先の墳墓まで日本人に奪はるに至るべしと、如何に過剩せる日本國民が雲霞の如くに來韓せりとて韓人の墓地まで併呑する程移住せざるは彼等の知る處なり、寧ろ彼等は先を爭ふて土地の私賣を謀り乍ら、韓國の官憲は公然天下に號令して日本人に土地を賣るを禁じ其公文書に於ては外人に轉賣するの契書を明記し、其排日本移民の苦心も尋常ならざりき、偶明治三十七年長森案なるもの世に騷動を起さしめぬ、獨立協會以後結社的運動の開始せられたるは實に長森藤吉郎氏企劃の荒蕪地特許を破壞するを目的として開催せられたる儒生の結社運動を以て第一とす長森氏の荒蕪地開拓の特許權は、實に韓宮廷の財政整理案として宮廷の內許已に結了したり、然るに許爲及其党類は天下に絕叫するに日本人の一人は韓の土地を悉く橫領するの企を爲せり、韓國の山河は日本人の有に歸せんとすと、依つて我等は日本人の橫領を防がざる可らずと、其の運動は一時市內の安寧を妨害する迄激しく運動し遂に解散せられたり、而かも其裏面に於ては日本國民の拓殖を妨害する目的に出でたるものなり、數年間韓人が尤も恐怖したる日本人移殖禍を政治運動によりて阻止せんとしたる第一の運動なりとす、排日思想は實に斯くの如く亡命者問題より變改したるを見る。

獨立思想の再顯

許爲等の荒蕪地案排斥は案其者の消滅と俱に運動も消滅したり、時恰かも日露交戰は酣にして韓人の外交觀は尤も狼狽迷誤を爲したるの時なりとす、漢城政府は日本帝國に國防の權を委任し、內政外交を擧げて日本政府と協約したり、是時に當りて韓人は戰鬪の結果未だ全然日本の勝利とは信念する能はず、各種の密使を各地に送くり、戰鬪の形勢を觀望し乍ら力めて日本政府の要求を防ぐを謀りぬ戰鬪の進行は宮廷外交と常に反して日本の勝利に歸し、遂に平和條約を締結するに至りて韓人は重ねて排日運動に着手せり、彼等は日露戰鬪が平和克復となりしより、重ねて馬關條約の如く韓帝國の獨立權能が天下りに降るべしと想へり、日本帝國は韓國に代りて多大の犧牲を拂へる上、戰勝の土產として韓國には「完全なる獨立」を與ふるべしと思へり、甚しきは戰勝の賠償金より其一割乃至三割位は韓國に與れるならんと放言せしものもありき、馬鹿々々しき韓人なるかな、又闘々しき韓人なるかな、彼等は十餘年前に於て受取りたる時に於ては獨立王國は厭やがりながら、十餘年後に於ては乞食の請求と均しく獨立帝國の奉加帳を日本帝國に提供せんとまで思へるに至りては不都合も馬鹿らしさも極の極ならずや、彼等は曰く伊藤侯は馬關條約に際して朝鮮人の未だ發見せざりし獨立を發見して與れたる仁義の人なり、今や其人大使として來れり、宜しく協約を廢して獨立の權を與へらるべしと、韓宮廷に於て大使を歡迎し、皇帝親しく大使を勞し且優待せし心中の一物是其要求の伏線なりき、曾て獨立は孤立なりき、一旦獨立の形式に立つや虛誇粉飾の壯觀棄つるに忍ず、永く保持せんと欲したる韓人の僥倖は戰鬪終了と俱に亡滅しぬ彼等は世界の同情の前に於て日本帝國の要求によりて保護國となりぬ、是れ日露戰勝の土產にして韓人に取りては千古無比の光榮たる幸福たる仕合せなる寬大の國交を被むりて國勢を改變すべく餘儀なくなさしめられたり、是に於てか排日運動大に起る。

夢中の排日運動起る

バルチツク艦隊の全滅するまで世界の旗色を窺へる韓人が、ポーツマウス條約の締結を知りつゝ世界並の强大仲間の一國となして呉れるだろふとの希望あるに至りては韓人の虫の好きこと天下比類なきの虫なりとす、洪州の百姓一揆も、全羅の儒生騷動も適ま獨立要求の犧牲となりし迄なりき、保護協約成りてより彼等は事に託し、機會を利用しては權力回復を謀るが爲めに宮廷外交の有ると有らゆる手段を盡したれども皆是夢中に日本を排斥したる當座の夢にして何事か成功すべきものやある、而して平和會議に付て計らんとしたる最終の幕は遂に帝國をして已むを得ざるの追擊を加へて保護の鎖を固からしめたりしは是非もなき韓人の稚蒔に過ぎず。

排日思想は發達せり

昨年政變以來暴徒は猛然として起り今尙は各地に亘りて全く鎭制するに至らざるは必しも不思議に非ず。

暴徒は無智なる韓人が保護關係を滅殺せんと企てる要求の表示なること明かなり、今や八道の韓人は日本帝國が保護協約によりて益勢力を擴張し、韓政府は日本勢力の下によりて如何樣にも動く有名無實の政府となりしを以て彼等は其幾何なりとも之を放棄せしめんが爲めに日本に反抗せんが爲めに暴徒となれり、（勿論火賊は其類に非ず）彼等は日露戰爭以來韓人が企圖せる獨立回復の要求運動者なりとす、保護關係の變改を要求せる運動者なり。

然れども斯る運動が何等日本の勢力を阻止するに効能無きを了解せるものは漸く增加せり、日本が韓國を保護國と爲したるは日本の勢力發展に過ぎず、日本帝國は尙より遠大なる、より多大なる發展を爲し得るの國民なりとは智慮ある韓人の觀察する處にして彼等は暴力によりて日本に反抗して自ら亡滅を求むるよりは、無益なる反抗運動や、一時的排日運動を企てゝ日本國民の憤怒を買はんよりは、韓國は多年に亘りて現狀より發展し、現態を改めて自强となるの時期を待たざる可らず、過激なる運動はポーランドの亡滅を救ふ能はず、性急なる愛國者は墳墓の地すら守る能はずとは日本の國情を了解せる韓人に今や通貫せる槪念を形作るに至れり。

是に於てか彼等の內にはバルガリヤの愛國者を氣取りて著述出版物によりて韓人の子弟に敎ゆるに愛國心の尊重を鼓吹せり各所に通信新聞雜誌を創刊して日本の强壓を說き自國の國民に奮起卓勵を勸誘せり彼等日本官憲に柔順なる形姿を示すと雖も、彼等の精神的基礎は永遠に亘りて日本の保護を排斥するに在り。

試みに最近漢城市の書肆に展列せる各種の新刊書籍を見よ其大半は悉く排日思想を根據とせるものなり、韓人の私設せる學校に於ては國權回復を專問として敎授されつゝあり韓國官立小學校は悉く日本敎師と共同敎育するを厭惡し、今や日本敎師は只俸給を受取る事務員の如くに取扱はれつゝあり耶蘇敎會は排日徒の訓練さるゝ好個の敎場の如くなり、日本より歸れる留學生や、有志者は日本の勢力發展に就て自國の國民に警告すること甚しく勉めつゝあり、韓國政府に勤める日本人官吏は冷笑輕蔑の下に待過せられつゝあり、之を一言すれば曾て一家の爲めに一宮廷の爲めに、一党派の爲めに、日本排斥を企てたる時代と相去ること僅かに五年にして今や自國の境遇を自覺し多年に亘りて我帝國に反抗せんと欲する智慮ある排日思想が一大勢力を形成し、將きに變じて國民的思想の如くに發達せんとするに至りては、我帝國に於ては決して油斷すべからざるの現象なりと謂はざる可らず曩きには尹吉炳なる者中樞院に獻策して一種の排日案を提議せり彼は曾て一進會を勸かしたる人物にして、世稱して日本党と云へり、彼の口よりして彼の提議を聞くは今に於ては珍しからず、吾人の視察を以てせば李完用內閣も尹吉炳と均しく排日思想を行ふに於て一致せる內閣なり亡命者も尹吉炳と均しく排日思想の一大分子なり最早韓人は日本帝國の立場を悉く了解せり、日本國民の利害を悉く知れり、彼等は近時尤も著しく發達せる排日思想の鼓吹と指導に向へり。

韓人なりとて木石に非ず、尤も自國の政治に神經敏捷なる國民なり、排日思想が幼稚なりし時に於ては其運動は滑稽なりしも、獨立觀念が滑稽なりし時は、其政治は奇怪なりしも、彼は年々に進步し年々に實力ある思想を磨錬し來るべし、吾人の祖先は德川氏の威權に屈從して朝廷の式微を知らざりしことありき、勤王の徒が德川氏を倒したる四十年前の結果を見て、其昔百年前の勤王思想を研究し來れば、今の排日思想は之を放棄せしめざるに於ては今の暴徒よりは、更らに强大なる暴徒を壓するの勢を自ら爲さざる可らず。

民の福澤、國の進步を導くるを好まずして徒らに空名の獨立を要求して屢帝國をして大煩累を受けしむるは此半島の人民也。

●漢城便り

▲好道園に於ける園遊會は大の成效に御座候主賓伊集院中將及各將校諸君は皆御滿足の体に相見受申候計らずも此好機會に因て我海軍の精華たる中將以下の雄姿に接するを得たる內外の陪賓も皆滿足の体に見受け申候之に主催者伊藤公の滿足を合せて總て滿足に了りしことを相祝し申候

▲餘興の綱渡りは仲々に面白く相見られ申候韓國に於て綱渡りが斯く迄發達したる國民性の發揮にして決して偶然にあらずと被存候

▲記者が憩ひたる丘腹の樹陰に政權の欲しソウな顏を爲して餘興を見物致居候齊純は由來正直物の由に御座候朝鮮の神は決して正直の頭には宿り不申候

▲一老爺あり切りに海軍將校の接待に力む彼は天眞樓の又兵衛に御座候而れども人彼を又兵衛と曰はずして新田中將と呼び候其理由を問へば統監の酒席には彼又兵衛必ず長谷川大將の次に坐するが故なりとの事に御座候

▲沖田大邱日日の退韓處分は不當なるものに御座候右に付在韓記者團は不當と認むるの決議を爲して伊藤統監へ是出致たる由に御座候統監が右の決議を尊重せらるゝことは立憲的なる公として有り得べきことに御座候

▲タイムスの發行停止に就ては種々の風說有之候五八京城支店總支配人菅原氏は鶴原長官の周旋にて百三十銀行に入り亦五八に轉じたるものゝ由に御座候斯邊の消息は機微に屬し申候

▲大邱百名の有志者より沖田氏退韓問題に付副統監に宛たる陳情書在中の書留郵便に對し信書の秘密を破られたりとの噂相聞へ申候若し眞なりとせば此は由々敷大事に御座候

▲大邱日日と云ひタイムスと云ひ近頃言論の自由を奪はるゝもの頻々と起り候右に付在韓記者團は近日大會を開催するとの事に御座候記者は同業先輩の驥尾に附して言論自由の保持に勉め度存候

●賊物資の輸出を禁ず

四月十日夜二時頃賊約五十は突然金川郡助浦を襲ひ運送店二十余戸を叩き仁川地方へ發送を托され倉庫に積みある大豆、小麥等合計三千五十八叺を記牒し何分の命令を發する迄は發送すべからずと云ひ同夜四時頃迄山郡漏川方向へ立去りたりとの情報に接したる金川憲兵分遣所長は十六日上等兵五通譯を率ひ助浦に出張村長に就き取調たるに全く事實にして物資の搬出を見合居るとの事に付村長金東弼を說き十六日始めて大豆一百四十四叺を船に積み出荷せしめたりと云ふ尙今後引續き出荷する筈にして助浦民は必らず開市日には出張ありたき旨村長を以て願出たるに依り際々巡回し保護を與ふ可き旨を約したりと因に昨年九月中旬助浦運送店は穀物二千叺を出荷せしを十一月中旬以來暴徒約百名各運送店を襲ひ一叺に付金十錢宛を强請したることもありて又今回彼等が叺數を記牒し去りたるは全く後日若干の金錢を强請する手段に外ならざるべしと

●近事片々

▲新聞● 記者は社會の批評者也政治經濟文學等百般を評し操る所を知らしむ是天職也

▲新聞● 記者は社會の制裁者也敎師也器を鳴らし善に導くは其職分也任務亦重大なり

▲何者● の痴漢ぞ此範圍に活動せるものを追ひ筆を縛せんとする之れ迫害也是橫暴也

▲記者● の筆常軌を逸せば法廷の公判に附せよ發行停止退韓處分は野蠻時代の遺物也

▲小兒● に及を持たすは危險也退韓令の如き認定權を俗吏に與へ置くは甚以て危險也

▲小兒● や俗吏は感情に動く感情の激する毎に其利器を無暗に振廻す甚だ危險千萬也

▲退韓● 令は廢すべし存置の必要ありとせば行使權を統監にのみ與へよ不然者甚危し

▲統監● 府縮少問題起る外務植民の二課を置き他は悉く廢すべし船頭多く船山に登る

▲理事● 廳亦不要殖民課あり民團役所あり充分に足るべし複雜の機關を要せざる也

▲韓政● 府內閣の上に元老閣の組織計畫伊藤公の腹案ありと果して異乎是少々考物也

▲一時● 便宜の爲に複雜の機關を設て他日大害を釀すは拙伊公の慧巧なる斯事無らむ

▲太皇● 帝の出現を要せば統監自身の顧問とせよ其說の採否は統監の自由也之ぞ名案

▲捨名● 取實の秘訣は此邊にあり保護を以て甘ずるならば太皇帝出現の必要はあらむ

▲拓植● 會社總裁行惱み岡部子爵に御鉢が廻る併し岡部の殿樣では迚も御嘶にならぬ

▲自身● は大に韓國通を氣取るも眼識手腕とも到底殿樣たるを免れず喧嘩に止まらむ

▲後藤● 蠻爵近々大連に行き哈爾賓を經て露部に遊ばむと恐らく鐵道事務視察ならむ

▲其成● 蹟の良否は兎に角キビ々々した男也創業的材幹は彼の長ずる所亦一の快男兒

▲露國● 首相ストリピン議會に於て兩頭鷲旗は極東を睥睨すと豪語し議場に喝采さる

▲最早● そろ々々忘れて露助威張出し極東で何が出來る者かい空威張も休み々々言へ

▲巴爾● 幹ルーメニアの大將夫人令孃來遊せられ大隈伯に面し頻に日本の花を賞揚す

▲皇室● の御紋が菊花なるも故ありと優美なるの花の國世界他に其比を見ずと激讃す

▲皇孫● 迪宮殿下御發明夙に聞所此頃敎師が日本第一豪き人はの問に義經と答へ玉

▲九郎● 義經は眞に日本武士の典型的人物とするは全く血性見義に於て見る

紐育電報

▲日本大博費通過

米國々會議員の報告に依れば日本大博覽會費用として五十萬弗支出の件は本會議の提案通り通過の見込みあり(二十日發)

東京電報

▲東宮御還啓

行啓中なりし皇太子殿下は今日午後無事御歸京あらせらる

▲一大政黨の組織

大浦兼武男は一大政黨組織の計畫あり大同倶樂部を中心として實業家其の他を網羅し政府に當らんとす(以上十九日發)

▲故ス氏追悼會

林外相珍田次官米國大使等の主催に係る故スチーブンス氏の追悼會は本日築地三一聖堂に於て行はれたるが大山元帥各大臣及び內外文武官等多數參列し嚴肅に式を終れり

▲在清邦人の慨歎

廣東に於ける日本商品排斥は日に劇甚を加ふるに關せず我政府は優柔不斷を事とし何時鎮靜する狀なきより同地在留の邦人は我政府の無能を慨歎し居れり

▲井上書記官の招宴

韓國宮內府書記官井上雅二氏不日歸任に付今夜田中宮相花房次官其の他を招饗す(以上十八日發)

各地電報

▲暴徒財務署を燒く

十八日暴徒約八十名祥原郡邑內に襲來し火を放つて逃走す放火によりて財務署全部及び郡衙一部燒失す(十九日平壤發)

▲暴徒駐在所を燒く

十八日午後十一時頃約二百五十名の暴徒文川郡邑に襲來し巡査駐在所及び財務署備附の帳簿を燒燬し且つ財務署建物を破壞し日本人一名を殺害し韓人巡査二名を被服並に帶劍を掠奪して雲林社方面へ逃走せりとの報あり當警察署より警部巡査を率ひて急行せり(十九日元山發)

▲暴徒守備隊を襲ふ

本日午前一時頃暴徒百餘名任實郡巡査駐在所及び守備騎兵を襲ひ交戰二時間にして擊退す此の戰鬪中騎兵一名戰死、一名負傷すとの報あり當地警察署より討伐のため出張す(十八日全州發)

雜報

●統監の外遊

伊藤統監が歸任間もなく六月下旬を以て東上せらるゝとの說あることは已報の如くなるが尚聞くところに依れば公の東上は來る八月我皇太子殿下の世界御漫遊に供奉し洋行せらるゝ爲なりと云ふ

●記者團決議文呈出

中島大阪每日戸叶大韓兩氏は沖田氏退韓問題に關する決議文を携へ昨日伊藤統監を訪問したり

●退韓問題決議

在韓新聞記者團は一昨十八日夜巴城館に於て集會を開き大邱日日新聞主幹沖田氏退韓問題に關し討議の末全會一致を以て左の如き決議を爲したり

決議

在韓新聞記者團は言論の自由を保持する爲め今回大邱理事官氏野德太郎氏が大邱日日新聞主幹沖田榮次郎氏に發したる退韓處分に對し全會一致を以て其不當なるを認む

當夜出席者中より中島大阪每日戸叶大韓理事峯岸京城社長を擧げて委員となし右決議文の寫を伊藤統監に呈出せしめ沖田氏退韓處分取消を請ふ事に爲したり

●大阪朝日(轉載)

▲韓國の暴徒は、伊藤統監の歸任を要して暗殺せん爲、京釜鐵道線に危害を加へたが巡廻工夫の注意で事なきを得たのは、不取敢統監の爲に萬歲するが、こんな企てが今日尚熄まざるに至ては、アマリ萬歲でもない▲皇室から太子太師と敬はれたり、皇帝から侍女を贈られたり、宋秉畯から親分扱ひにさんと言はれたり、皇太子からオヂされたりしても、その裏からスチーブンスを殺されたり、自分が覗はれたりしては一向感心しない、今度の歸任を機として、今少しテキパキ埒を明けて欲しい

●俵次官の視察談

過日平壤日語學校及び同普通學校の落成式に參列のため出張歸京せし俵學部次官を訪ひて同地方の學事視察談を聞く其の概要左の如し

平安南北道の學事は他の各道に比して長足の進步をなし居れりとは豫て聞知せる處なるが今回平壤に出張して實地に其の狀況を視察し平壤は勿論道內各部も大いに其の進步の注目に價すべきを知りたり僅かに二日間の滯在にして各地學校の狀況を詳細に視察するを得ざりしも幸ひに滯在中同地に於て道內各學校の大運動會ありて目のあたり各校學徒を見て其盛況の一事を推知するを得たり大運動會に參加せしは百七十四校學徒四千四百十名にして此の內小數の平安北道黃海道の生徒ありしも大部分は平安南道の學校なる生徒も遠きは三十里以上の遠距地より參加し來れるものありたれば各學校の全學徒の集合にはあらざる可し右の參加學校中耶蘇敎宣敎師の管督の下に經營せられたる學校百十七生徒三千六百五十ありて本道の學事の進步盛況が宣敎師の盡力に俟てる事の多大なるを知る

滯在中宣敎師の監督の下に設立せられたる學校其の他の私立學校の五六を巡視し又右の運動會に參加したる生徒の模樣を見て同地方學事の大体を觀察するに生徒は好んで屋外遊戲運動をなすが如し勿論運動會に出席參加するに就ては豫め隊伍整列の練習に努めたるものなるべく其の隊列の大いに整頓せるを認めしも唯些か遺憾の感ありしは運動會に參加せる生徒は多く洋裝を着け各學校樂隊手を選び樂手は種々の裝飾を施し今日をはれと着飾れるの風あるを見る運動會には規律整頓の必要あるべきも餘りに形式的裝飾に流れ服裝の美を競ふの傾なきやを恐る試みに服裝代金を調査せしに極めて粗末なるものにして四圓を要するとの事にて其の裝飾を施せるものは此の以上を要求するものゝ如く而して參加生徒が大部分洋服を著け居るを見れば今回の運動會のため要せし洋服代は非常の多額なりしを知るべし殊に遠距離の地より生徒は其父兄又び親戚に伴はれ來集し居れるを以て其の往復滯在の出費も少からざりしなるべし今や韓國は敎育振興の初期に屬し學事創始の際父兄をして如斯無用の出費をなさしめ敎育多費の感を生ぜしむるは敎育普及前途のため忌むべき現象なりと信ず

又平壤內私立學校五六の狀態を視るに校舍其他の設備何れも不完全なるを免れず每週敎授學科時間表を見れば普通學は敎授せる如きも各學校共生徒の多きを競ひて學科に重きを置かざるに非ずやの感を生じたり充分の時日なきため各學校授業の實際を見ざりしは遺憾なりしも敎科書の整頓せしもの少きが如し既に校舍狹隘にして設備完かならず且つ敎授用圖書器械等の不完全なるに濫りに多數の生徒を收容せる學校の狀況は假令實地授業の有樣を見ざるも其の完不完は略推知する事を得べし

宣敎師監督の下に經營せらるゝ學校及び其の他の私立學校は何れも一箇月五十錢の授業料を徵收し授業料のみにて校費に不足を感ずるものは父兄有志者等より別に寄附金をなして學校を維持せる狀況に見るも如何に同地方の父兄有志者が敎育に熱心なるを想像し得るも一方學校の實際が前述の如くなるに於ては或は父兄有志者等の敎育上の希望を滿足せしむるを得るや否やを恐るゝなり

余が見たる私立學校は平壤內に在るものゝ一部にして僅かに五六校に過ぎざりしを以てこれに據りて各郡の學校を批評するは適當に非ざる可きも平壤既に然りとせば他の地方各學校が如何なる現狀に在るかは判斷し得べし然れども之等の狀態は蓋し現時に於て止むを得ざる事と信ず(未完)

●坡州附近の賊徒

四月十七日賊徒數十名坡州郡廣灘面九龍里(高陽北一里)に集合京城街道通行人に脅迫を加へ居るとの急報に接し直ちに高陽憲兵分遣所より兵五名を現場に驅け付けしめたるに賊徒は憲兵の來るを知り周章逃走せり而して同里に就て賊徒來襲の狀況を聞くに二月以降に於て二回闖入せしことあり又尹德洙金成俊の二人は賊徒の連に加はり十七日揚州方向より山越に來りたるに憲兵の出張の爲め掠奪の暇なく逃走せしにより遺留品を檢するに血痕附着しある脚袢等ありて敗散賊徒の一部と思惟せらる

●賊徒の掠奪

四月十七日午前三時頃高陽郡神穴面舊把撥金儀贊宅に賊數十名闖入したるを以て高陽分遣所に急報せんとしたるに賊徒は該人夫及金儀贊、金好榮、金良根、金明其他四名を拉去し尚金二百餘圓(日貨)木綿布三十疋金巾二介笠子一介銀指環一個を奪取し去れりとの急報に接し分所よりは兵四名をして取調せしむるに一名も歸家せず同里人民も悉く避難し居たり

●暴徒と支那商

暴徒蜂起以來日本人の內地にあるものは多く其難を恐れて京城平壤仁川等の都市に引揚ぐるもの多く爲めに日本人の內地に於ける商業其他の事業は殆んど暴徒の爲めに蹂躙せられたるの現況にあり然るに彼の機を見るの敏なる支那商人は好機逸すべからずとなし日本人の勢力を侵蝕せんとして京城平壤仁川等にある支那商人は支店員を內地に派遣して商業擴張に努め或は小商人は雜貨類を荷ふて內地行商に出掛くるもの漸く多きを加へたるが今仁川某支那商人の語る所によれば暴徒の一類は多く日本人に迫害を加ふるも支那人に向つては何等危害を加へず且暴徒にあらざる韓人も常に排日の思想を鼓吹せられつゝある次第なれば同一商品は日本人より買求せんとはせず支那人より購買するの傾きあれば支那人に取りては此機を措いて又と商業擴張の機なしと云々といへり依つて彼等が如何に內地商業に努めつゝあるかを知るに足るべし

●木材輸入に就て

仁川に於ける木材輸入に就ては兼て各輸入商の倉庫又は其附近に便利の場所に陸揚したる後稅關の檢定を受け關稅を支拂ひ居りしが斯くては脫稅の恐れあるを以て今后稅關波戶場に陸揚したる上稅關の鑑定を受け關稅を徵收することゝなりたるを以て輸入商は之れが運搬に多額の費用を要することゝなり之れが爲め受くる損害も又莫大なるを以て輸入商等は從前の如く復舊せられんことを其筋に陳情したりと云ふ

●日韓貿易會社重役退社

仁川日韓貿易會社は創立以來其成績餘り面白からず爲め重役間にも種々の苦情絕ねざりしが此程漸く株主たる町田文次郎氏が全株三千株の內二千株を買收し他の重役なる加藤藤太郎氏其他は退社する事に決したりといふ

●邦人叙勳

十八日付にて韓廷より左の通り敍勳ありたり

敍勳二等八卦章 陸軍步兵大佐 勝賀瀨元

同 同 少佐 下條英四郎

同 大尉 坂口義正

敍勳三等八卦章 統監府鐵道管理局技師 見田勇吉

同 同 事務官 武田豊松

敍勳四等八卦章 同 太田甚太郎

●鈴木滿次郎氏

愛國生命保險會社長なる同氏は同社重役淸水彥次郎と共に社務視察の爲來城せられ目下天眞樓に滯在中なり

●岩本辯護士の招宴

本町一丁目岩本辯護士方にては再昨十八日午後五時懇親會を兼ね出鄕二十年の紀念祝ひを催ふしたり招待に應じて來り會するものは四十餘名先づ岩本氏の謙遜なる挨拶に次で木尾辯護士の謝辭、仁科助役の居留地に就ての所感等の演說あり夫れより打ち寬ぎて酒宴に移り和氣洋々の裡數話笑聲湧くが如く紅裙數名杯盤の間を斡旋して興を援けしが斯くて一同十二分の歡を盡し散會せしは午後十一時頃なりき

●六十圓の金に死を企つ

和歌山縣有田郡南廣村字西廣平民目下仁川宮町二丁目酒屋白石貞吉方雇人森德次郎(二十)は去る十九日突然主人方の自分の居室に苦悶し初めたるより主人は見て大に驚き直ちに此旨警察に急報し一方小倉醫師に馳け付けて治療を求めたれば醫師警官共に現場に至り診察せしにモルヒ子中毒と判明し直ちに解毒藥を服用せしめて生命を取止めたるが原因は主家より金六十圓を借用して居るのを苦にして自殺を計りたるものなりと氣の小さい奴さんなるかな

●暴徒と見しは番人

一昨夜午後十時過仁川濱町大師堂下にて一名の日本人四五名の暴徒に包圍せられ居れりとの急報に接し仁川署にては劇かに大騷ぎをなし阪下寺田今井石川の四刑事は時を移さず驅け付けたるが折しも大師堂の下にて二三の韓人手に大槍を携へウロ〳〵し居るに直ちに取押へ內洞派出所に引き來りて取調べたる所暴徒などゝは大違ひにて實は當夜一名の日本人が濱に積みある材木を調査に行きし所折しも通行せる韓人夜番が立止まりて同人の所爲を注意し居りしを其日本人が曩きに田舍にて二度迄暴徒に襲擊されたる事あるにより直ちに右夜番を暴徒と誤認しさても大げさに暴徒ありとの訴へをなしたるものなりといふ

●仁川のボヤ

一昨十九日午後二時宮町二丁目蕎麥屋伊勢屋事吉田熊吉方烟筒より發火し已に大事に至らんとする處を發見し消止めたるが時節柄物騷な事といふべし

大船客運賃値下

◎四月一日ヨリ左之通三等船客運賃引下ゲ申候

仁川ヨリ
一神戸大阪行 金八圓
一門司下ノ關行 金六圓
一宇品行 金七圓
一長崎行 金七圓
一鎭南浦行 金三圓
一龍岩浦新義州安東縣行 金五圓

京城ヨリ(京仁間汽車賃含ム)
一神戸大阪行 金八圓五十錢
一門司下ノ關行 金六圓五十錢
一宇品行 金七圓五十錢
一長崎行 金七圓五十錢

●御注意 團体ニハ特別ノ割引アリ 往復切符ハ復航二割引

大阪商船株式會社仁川支店(電話一二一番)

京城本町二丁目角 林田商店切符發賣所(同 電話二一〇番)
京城南大門通 慶田組出張所(電話六五番)(電話九四九番)

寶ヲ顧客ノ前目ニ提供ス此機逸スカラズ可

◎代理店開設御披露◎
大景品付紀念大賣出し

弊店儀今回トルコ貿商會と代理店の契約仕候に依り其紀念として左記破格の直段にて來る十五日より大景品付大賣出し擧行仕候間續々御用命御引立願上候

一シーデーインペリヤル 百本に付 九拾錢
一茶褐色スポート 百本に付 九拾五錢
右百本入一箱毎ニ景品券壹葉トス

景品目錄
一壹等 商品券 同 百圓
一貳等 同 參拾圓
一參等 同 貳拾圓
一四等 同 拾圓
自五等至七等 同 五圓
一自八等至拾等 商品券 同 參圓
一自拾壹等至拾參等 同 貳圓
一自拾四等至十八等 同 壹圓
一自八拾一等至百等 同 五拾錢
其他空籤ナシ

右は公平なる抽籤法を以て即時相渡可申上候也
當店の特色 景品は物品にあらず商品券に付何時にても隨意に御好の品にて差上可申候

代理店 京城本町六丁目 岡野商店
特約店 同町 堀商店
特約店 同町 中塚商店

電話開通九百十八番

疊製造商並に表替

弊店儀各位の御引立を蒙り日增に繁榮に趣き候段難有御禮申上候就ては今回熟練の職工手揃候に付一層勉勵不素の御眷顧に酬ひ可申候間陸續御用命の程伏而奉懇願候 敬白

京城本町六丁目 金崎仁三郎

一層業務を擴張し敏腕の事務員數名を增聘し迅速且つ懇切に左の事務を取扱ふ

一民刑訴訟の鑑定及諸般代書事務
一貸金賣掛金等に關する債權取立事務
一鑛山及土地の測量製圖並に出願手續
一會社組合銀行等の顧問

京城本町一丁目 明治法律學校出身 增本好三郎事務所(電話取次六二四番)

會席御料理

並に仕出し

京城三好町歌舞伎座前 筑紫亭

移轉開業廣告

元槌屋と云ふ玉突屋を營なんで居ましたなじみに甘へ此たび左記の處に移轉開業致します何卒不相變御引立下され願上ます

京城大和町(軍司令部通り)

會席御料理 ○松

開業廣告

○內科 ○眼科
○婦人科 ○外科
○小兒科 ○花柳病科

今般左記之處に於て開業致し懇切と叮嚀を旨とし一般患者の診療に應す

京城南大門外御成町 吉田病院
院主 吉田三省

席貸 待合

花月 本町一丁目
電話一四七番

●大勉強廣告●

○うなぎ蒲燒 ○會席御料理
○うなどん ○親子どんぶり

本町座前大和湯向 きく紋
電話九百五十四番

營業科目

活版活字鑄造 石版銅版 木版彫刻 コロタイプ版 寫眞版 諸帳簿 製本裝釘

今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新築落成仕候間倍ノ御愛顧之程奉願上候也

日韓印刷株式會社
本社 京城明治町三丁目 電話(三二三番)
東京出張所 東京京橋區南鍋町一ノ十 電話新橋(三九六二番)

西洋御料理宴會

京城南山町三丁目電話(一二三番)
日本人倶樂部

石材販賣廣告

一橋梁
一土工 一切之石材
一建築

右特別廉價を以て販賣致候に付多少を問はす御注文被下度奉希上候

京城永樂町三丁目廿一番戶 白井石材販賣所

京城本町通 電話五三六

春の御召幾に當分の內
東京双子 約一割引
尾州銘仙

まからすの丸一はまけよまけぬの押問答に時間を潰す煩なく其又まけべき時には右の通に進でまけ申上ます桃に柳に迄すがら皆様御贔屓をまけて玉へ〱

丸一呉服店

●大阪豆腐●

大阪滋養大豆ソップ
豆腐木のめでんがく

右は一合三錢にての御方ははがきにて朝夕配達仕候間御入用の程一報被下度候
右は一人前十三錢にて仕出し可仕候

京城旭町壹丁目 中瀨商店

●木のめ田樂●

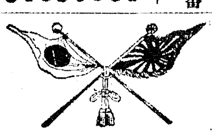
原金旅館

本店 仁川理事廳通(電話三三二番)
支店 京城南山町(電話一〇七番)

開店御披露

會席御料理
壽し並ニ仕出し

京城長谷川町二丁目 末廣亭



和洋會席御料理 並に仕出し

京城本町二丁目 曙亭

開店御披露

會席御料理並に仕出し

右今般開店仕候大勉强を旨と致し候間賑々敷御光來之程奉願上候 敬白

京城長谷川町二丁目五十番戶 開月亭

小兒科 內科 梅毒科

入院隨意

京城壽町三丁目 阪井病院(電話二一六番)

梅毒痳病

內科 外科

入院隨意

京城南大門外 戶田病院

花柳病專門

龍山老松町 十字病院

院長 帝國醫科大學選科得業 望月憲磨

今般更に眼科部を設け最新式機械を設置し眼科全般の治療をなし又遺憾なきを期す若し夫れ技術巧拙に至つては乞ふ既往の治績に徵せられんことを

今般左記の處に事務所を設け一般訴訟事件の依頼に應ず

前東洋大學校師 日本法律學士 辯護士 木尾虎之助

事務所 京城元博覽會表門通 学洞六十四統二戶

▲懇切なる通關▲

懇切を本旨として通關を取扱ひ迅速を特色として運送に從事致候間御用命奉願上候

京城南大門外吉野町 ㊁運送店

▲迅速なる運送▲

一萬染物 あらひはり ものし

○小もん ○友仙 ○さらさ
○紋付類 ○旗幕其他いろ〱

○黑かすりは弊塲獨特の染法により古浴衣古双子等地色ぬきの上耐久不變の染料を用ひ調進可仕候也

大和町三丁目梅の家前 平岩染工塲

陸中產(背丈四尺八寸五分)

乘馬カケ一頭

右賣却す御望の方は御來談あれ

京城鍾路通一丁目 精成組 電話(九六二)

襖張替 表裝一切

京城本町五丁目 表具師 竹堂

第一銀行 株式會社 韓國京城

本店 東京市日本橋區兜町

電話番號 營業用 一二番 國庫用 六二番
當直用 一二番 生分析所用 (六一二番)
營業用 三二一番

內地支店、出張所
大阪、京都、橫濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町

韓國支店、出張所
仁川、釜山、元山、鎭南浦、群山、平壤、木浦、大邱、開城、咸興、城津、馬山、義城
淸國安東縣

右の外內外各地重要なる塲所には爲替取引先あり
營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

フツマ新調 並ニ張替

京城旭町三丁目三ケ月旅館前 表具師 高瀨光榮堂

日本澤庵
味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨

漬物問屋 京城本町五丁目 大上商店(電話二五一番)

拾有八年の實驗 最新學術の應用

京城南山町三丁目 齒科醫 六等 楢崎東陽(日本人倶樂部向)

訴訟、鑑定、契約起案、諸願屆、登記書類代書、土地家屋賣買、金錢貸借、電話賣買等の周旋

京城本町一丁目警察署前 法學士 小川勝平事務所 電話四十一番

日本郵船株式會社
瀛船仁川出帆廣告 電話十番

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番

京城南大門通 巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 四月廿八日 前五時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 第一オハヨ號 五月一日 後三時出
釧路丸 月 日 後三時出
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 五月十四日 後一時出
山東丸 五月十日 後三時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 四月廿四日 後一時出
●鎭南浦行 第一オハヨー號 四月廿八日 後三時出
●釜山出帆、元山城津、浦鹽行 弘濟丸 四月廿二日

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止塲ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ稅關原頭ノ事